

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア 都町第2教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や終礼の時間に、職員間で支援内容を振り返り、当日の支援について振り返る時間を設けています。 ・日々の支援の中で課題と感じた点について、職員間で話し合いや勉強会の時間を設定し、対応等について認識の共有ができています。 ・職員の資質向上に向けた研修が定期的に開催されています。 ・目的やねらいをもって、バリエーション豊かなプログラムを用意できています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼・終礼の時間を単なる連絡事項の共有にとどめず、当日の児童の様子や支援のねらい、対応の良かった点・改善点、各児童ごとの日次の目標達成を振り返る時間として活用しています。 ・5つの療育クラスに基づくプログラム立案を行い、曜日で偏りが少ないように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日次の目標達成状況を継続的に振り返ることで、個別支援計画の目標とのつながりをより意識した支援が行えるようにします。 ・曜日ごとのプログラムの偏りだけでなく、児童の特性等にに応じた参加しやすさや成功体験につながるようなプログラム立案・内容となるよう、検討します。
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望や意見を受け止め、実際のサービスに反映できています。 ・家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要に応じて助言や支援を行っています。 ・けが発生時の対応など、各職員が適切に行うことができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容については、その場限りの対応とせず、職員間で共有し、支援方針や関わり方に反映できるよう努めています。 ・けがやトラブル発生時には、マニュアルに基づいた初期対応を徹底するとともに、状況確認・保護者への報告・再発防止の検討までを一連の流れとして行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等から寄せられた相談に対して、より適切な助言や支援が行えるよう、職員間で事例を共有しながら対応力や対応ノウハウの向上を図っていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、学校などの関係機関と、必要に応じた情報共有（下校時間の連絡や利用予定の連絡など）や連携を図れています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や学校などと、下校時間や利用予定の変更等について、早めの情報共有を心がけ、支援や送迎に支障が出ないように調整を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等から得た情報を職員間で確実に共有した上で、児童の当日の状態を支援により反映できるよう、連携後の確認や振り返りを行っていきます。

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
<p>非常時にお子様の安心と安全を守る体制が整っていると感じている職員が少ないです。</p>	<p>安全計画に基づく研修などは実施していますが、「実際に非常時に行う動き」と「望ましい対応」のイメージの差を十分に埋めきれないこともあり、職員一人ひとりが「自分に対応できる」という実感を持ちにくい状況があります。</p>	<p>安全計画に基づく研修時に、実際の非常時を想定した訓練やシミュレーションを必要に応じて取り入れ、職員一人ひとりが具体的な行動をイメージできる機会を増やしていきます。</p>
<p>お子様の活動内容や発達段階に応じたスペースが確保されておらず、十分に活用できていません。</p>	<p>限られたスペースの中で、目先の支援に取り組むことはできていた一方で、発達段階や特性に配慮したスペース・環境整備については、より良い改善案は検討しているものの、実際の改善行動まで十分に移せていない状況があります。</p>	<p>職員間で環境設定の意図やねらいを共有し、個々の判断ではなく、事業所として統一した視点で運営できるよう取り組みます。</p>
<p>お子様にとって分かりやすく安心して過ごせる環境（構造化された環境・物理的・心理的な安全）が整っていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化された環境づくりについて、職員間によって構造化された環境設定の理解と実践の差が生まれています。そのため事前準備や進行でも差が生まれています。 	<p>経験や能力問わず、職員間で迷わず環境設定を行えるよう、配置や導線等について日次で共有し、実践につなげていきます。</p>